

【2021年新型】

JMAX-V3

スマホ・タブレット用 防犯展示スタンド



- シンプルさと高級感を兼ね備えたシルバーボディ
- 誤報のない最新のアラーム機能
- あらゆるスマホ、タブレットを充電・防犯・展示
- 多彩なラインナップを共通リモコンで遠隔制御
- 内臓バッテリーにより停電時の対策も万全
- 充実のオプション・ラインナップ

JMAXV2→V3変更点： リモコンが新しくなりました

JMAX_V3シリーズの操作には、JMAX_V3用リモコンが必要です。



JMAX_V2リモコン



JMAX_V3リモコン

JMAX_V3シリーズの操作に、JMAX_V2リモコンはお使いいただけません。
またJMAX_V2シリーズの操作に、JMAX_V3用リモコンはお使いいただけません。
その他の仕様、機能、オプションの互換性に変更はございません。

美しいデザインと「誤報」がない最新アラーム機能、平台でも壁面でも展示できます



要日本語字幕

QRコードにて設置例をご覧いただけます(要日本語字幕)

【アラーム音量/99デシベル】

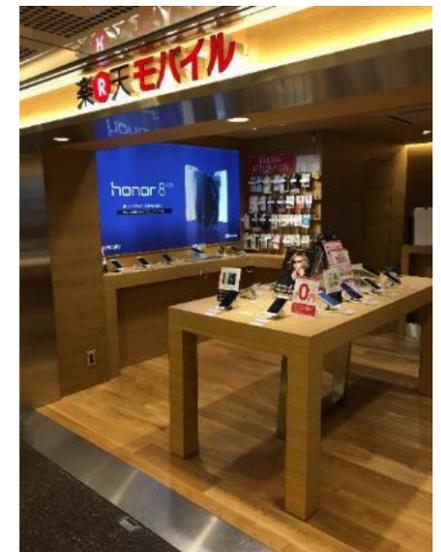
ドコモショップ



ソフトバンクショップ



楽天モバイルショップ



スマホ・タブレットを充電しながら様々な展示が可能です

体験接客仕器(平台用)



JMAX801_V3
(Androidスマホ展示向き)



体験接客仕器(平台用)



JMAX705_V3
(iPhone・キッズ・ケータイ展示仕様)



JMAX700_V3
(傾斜仕器向き)

体験接客仕器(平台用)



JMAX715タブレット用_V3
(iPad・Androidタブレット展示仕様)



JMAX710タブレット用_V3
(傾斜仕器向き)

ラインナップ仕器(壁面向用)



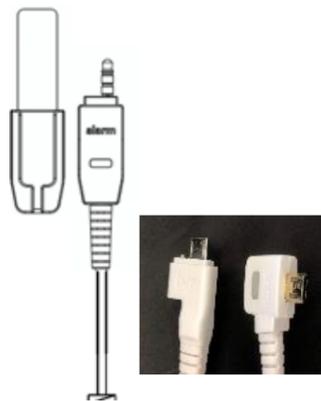
JMAX702_V3
(Android・壁面設置仕様)



充実のオプション・ラインナップ



充電ケーブル各種



セキュリティケーブル各種



JMAX_V3用リモコン



特殊ドライバー



シール剥がし器



位置決めホルダー



貼替シール各種



粘着補助シールⅢ

① アクリルスタンドに「立てる」

JMAX801-V3はアクリルスタンドに立てて展示が出来ます。
青いLEDランプが美しく映えます。

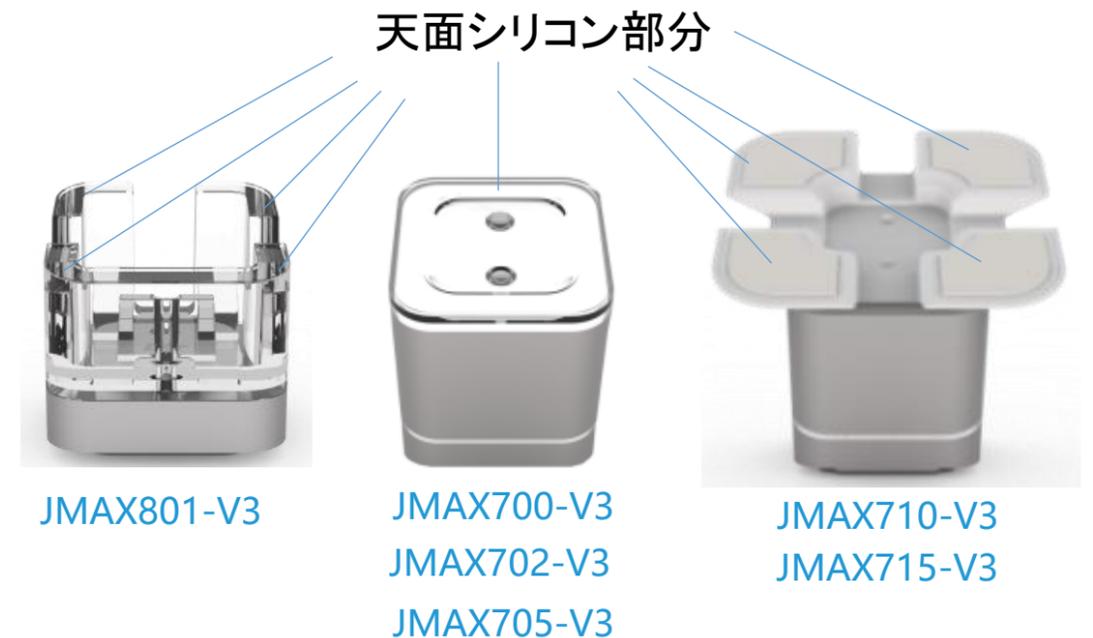


② 天面シリコンに「置く」展示

JMAX-V3本体の天面にはストッパーとしてシリコンが標準装備されています。
剥離紙を剥がしてスマホ・タブレットを置くだけで滑り落ちることなく平台展示が可能です。



実例画像は旧型JMAXです



③ 位置決めホルダー(磁石)で「つける」展示

磁石の位置決めホルダー(別売りオプション)をスマホ・タブレットに貼りつけるだけで、壁面への設置が可能になります。
平台展示の場合も、スマホ・タブレットは所定の位置に「カチッ」と戻るので売り場の美観を損ねません。



位置決めホルダー (磁石) ※別売り
※左が表、右が裏 (シール付き)

実例画像は旧型JMAXです



【JMAX_V3 セット内容】



※JMAX本体の保証期間は1年間です。
購入後速やかに動作確認ください。
※充電ケーブルの保証期間は購入から3ヶ月

【JMAX_V3用 リモコン】



「単四電池/2本付属」

◆注意
本装置は、警報を発生させるもので、盗難を防止するものではありません。万一発生しました盗難事件などにつきましては、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。スマートフォンの機種により、充電ケーブル先端のLEDが点灯しない、または充電が正常におこなえないものがあります。

■■防犯システムの稼働■■

JMAX本体とスマホ・タブレットを充電ケーブルで接続し、電源コードをACアダプタと接続しコンセントに挿すことで、充電を開始し、防犯システムが自動起動します(ピーと長鳴り1回)。※詳しくは別ページの設置方法参照
※自動起動しない時は、リモコンON/OFFボタンを押して稼働させてください(ピッと鳴ります)。
※必ず付属のACアダプタを使用してください(充電や防犯システムが出来ない場合があります)。
※充電ケーブルのLEDランプは青色が「スマホ充電」、「防犯システムの稼働」状態、赤色が「スマホ未充電」、「アラーム警報中」状態です。



■■アラーム 警報(防犯システムの稼働後)■■

- ①充電ケーブルが、スマホまたはJMAX本体から抜かれた場合、アラーム(連続音)が鳴ります。
※そのまま放置の場合、間隔音に切り替わり約1分後に自動停止します。
- ②電源コードのUSB端子がアダプターから抜かれた場合もアラーム(連続音)が鳴ります。
※そのまま放置の場合、間隔音はせずに約1分後に自動停止します。
- ③コンセントからACアダプターが抜かれた場合、アラームが1度だけ長鳴り(ピー)して停止します。

■■リモコン操作によるアラーム停止と、防犯システムの再稼働■■ ※予めアラームを鳴らなくすることは出来ません。

リモコンをJMAXに向け、ON/OFFボタンを押すことでアラームを停止できます(リモコン射程距離は約3m)。一度目のON/OFFボタンでアラーム音が間隔音(ピッピッピッ)に切り替わり、5秒後に2度目のON/OFFボタンで、アラームが停止します。その後アラームが鳴った原因箇所の接続をなおすと自動的に防犯システムが再稼働します(ピッと鳴ります)。
※自動的に再稼働しない場合は、再度リモコンON/OFFボタンを押して必ず再稼働させてください(ピッと鳴ります)。
※リモコン操作で停止するのはアラームが鳴っているJMAXのみで、正常稼働しているJMAX本体は反応しません。

■■防犯システムの完全停止(撤収・保管時)■■

全ての接続部品を外し、アラーム警報中にリモコンON/OFFボタンを押すことで完全停止になります。※再接続で自動起動

■■停電時または閉店時など電源が途絶えた場合■■

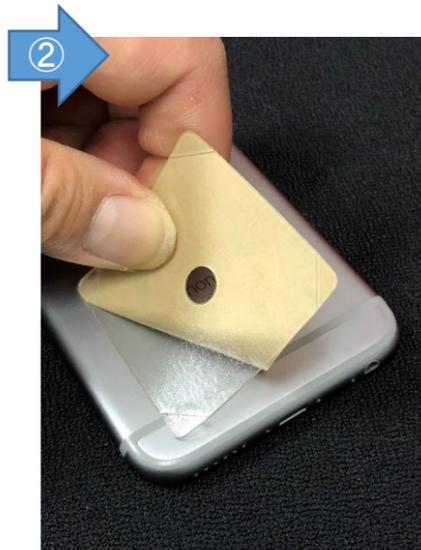
JMAX本体内蔵のリチウムイオン充電電池(電源接続7~8時間でフル充電)により、停電時でも防犯システムは稼働します(使用状況により約1週間~20日間程)。この間スマホ、タブレットへの充電は出来ません。

※内臓電池の充電が完全に無くなった状態で再び電源に接続させると、アラーム(ピーピー)が鳴ります。約10秒~1分程で内臓電池に充電されることでアラームは自動で鳴り止みます(この間のリモコンでの制御は不可)。※内臓電池の寿命は1年~3年です(使用状況によります)。

■設置手順 ①～⑥



①設置位置の台面をよく拭き取り、JMAX本体底面シールの剥離紙を剥がして仕器に貼り付けます。
※貼ってから10～20秒くらい手で押しつけてください。



②シールが剥がれやすい、滑りやすい機種には、「粘着補助シール」を下地に貼ってから、「抜け防止コネクターシール」を上から設置してください。



※本体アクリルの丁度上あたりに貼り付ける

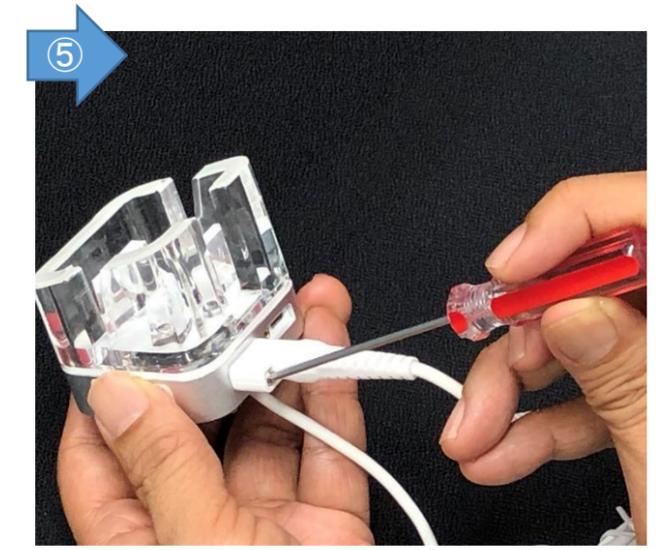
③「充電ケーブル抜け防止コネクターシール」を粘着補助シールの上に貼り付け後、スマホの充電口にケーブルを接続してから、コネクターにケーブルを設置。



④充電ケーブルを本体側ポートに接続します。



「充電ケーブル抜け防止コネクターシール」



⑤専用の「特殊ドライバー」で、JMAX本体から充電ケーブルが抜けないように締めてください。(抜け防止) ※見本撮影の為、手に持っています。

⑥設置完了



⑥電源コードのUSB端子をACアダプタと接続し、コンセントに挿すと、防犯システムが自動起動します(ピーと長鳴り1回)。

※ピー音が連続音の場合、JMAX本体の充電不足により鳴り続けますが、約30秒程で鳴り止みます。

※画像はJMAX801_V2をモデルにしています。

【JMAX801セキュリティ展示台 3WAY展示方法】



アクリルスタンドに立てる、または寝かせての展示が出来ます。(折畳み携帯は、JMAX705で展示ください)



※シリコンに置く場合には、JMAX本体天面シリコン部分の剥離フィルムを剥がしてからご利用ください。



↑このQRコードにて動画でも設置例をご覧いただけます。

■シリコン展示台のみ使用（位置決めホルダー未使用）設置手順 ①～⑥

①

②

③

④

①設置位置の油分をよく拭き取り、JMAX本体上部の天面シリコン部分の剥離フィルムを剥がして貼る。
※貼ってから10～20秒くらい手で押しつけてください。

②JMAX本体上部の天面シリコン部分の剥離フィルムを剥がしてスマホの滑り止めにする。

③シールが剥がれやすい、滑りやすい機種には、先にデモ機側へ「粘着補助シール」を下地に、スマホ中央よりやや下側に貼り付けます。

④「充電ケーブル抜け防止コネクターシール」を粘着補助シールの下部に貼り付け後、ケーブルを接続してから、充電ケーブルをコネクターに設置。シリコン展示面に当たらないように設置ください。

※コネクターシールは、デモ機のシリコン設置面に邪魔にならないよう、粘着補助シールの下側に貼り付けてください。

※滑りやすい機種には粘着補助シールを貼り付ける(別売り)

「充電ケーブル抜け防止コネクターシール」

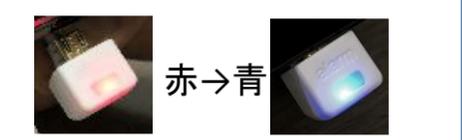
← QRコードにて動画でも設置例をご覧いただけます。



⑤充電ケーブルを本体側ポート(左・右)に接続します。



⑥電源コードのUSB端子をACアダプタと接続し、コンセントに挿すと、防犯システムが自動起動します(ピーと長鳴り1回)。



※LEDが青く光り、防犯システムと充電が始まります。※自動起動しない時は、リモコンON/OFFボタンを1回押しと起動します(ピツと鳴ります)。

■位置決めホルダーの使用(オプション) 設置手順 ①～⑥

①

②

③

④

①～②位置決めホルダーの溝に、充電ケーブルの持ち手部分の溝をあわせて奥までしっかりはめ込みます。
※(はめ込みが甘いと位置決めホルダーが剥がれる原因になります。ケーブルの長さがあわない場合は、持ち手部分(スライド調節可)を調節して、スマホのサイズに合わせてください。最初に仮当てしてから行うとスムーズです)。

③滑りやすい機種には、別売りオプションの「粘着補助シール」をご使用ください。

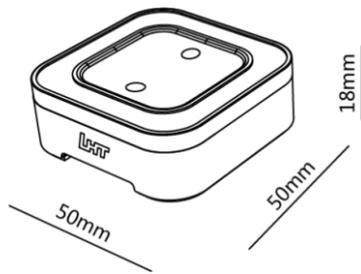
④充電ケーブル端子をスマホ充電口に接続し、スマホ裏側をよく拭き取り、ホルダーシールの剥離紙を剥がしてスマホ裏側に貼り付けてください。貼付け後、10～20秒くらい位置決めホルダーを手で押しつけてください※貼付け後は、すぐにご使用せず、しばらくおくことで接着力が高まります。

2: 位置決めホルダーを貼る

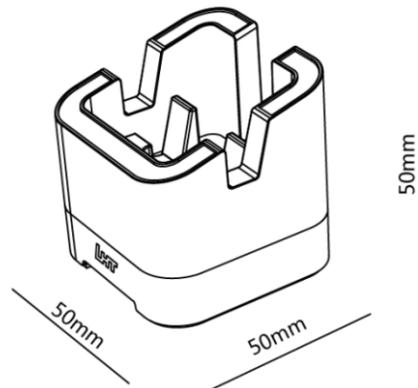
1: 充電ケーブルを挿す

※滑りやすい機種には粘着補助シールを貼り付ける(別売り)

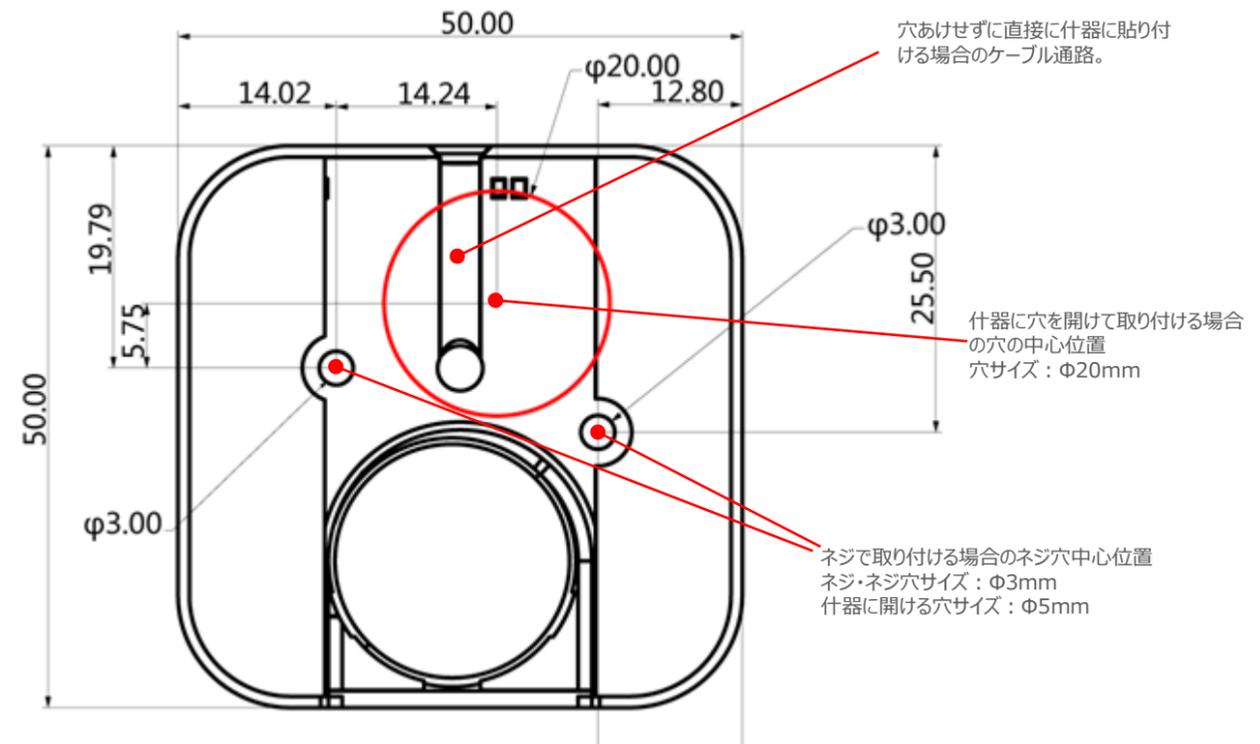
JMAX700-V3



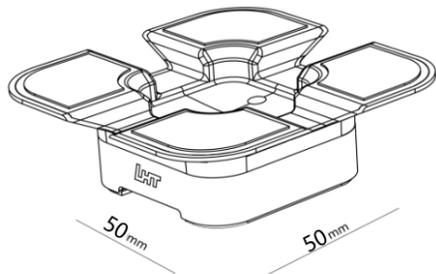
JMAX801-V3



共通底面

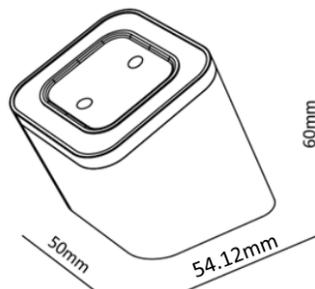


JMAX710-V3
(タブレット用)



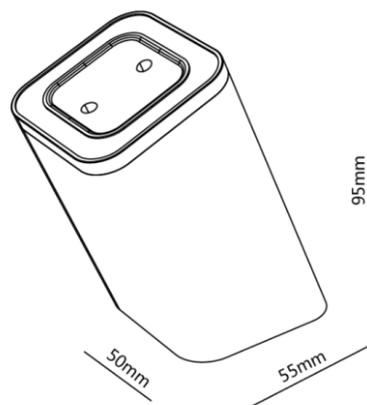
仕器に穴を開けなくても電源コードを逃がす部分があるのでシールを貼るだけでも設置可 (3タイプ共通)

JMAX702-V3

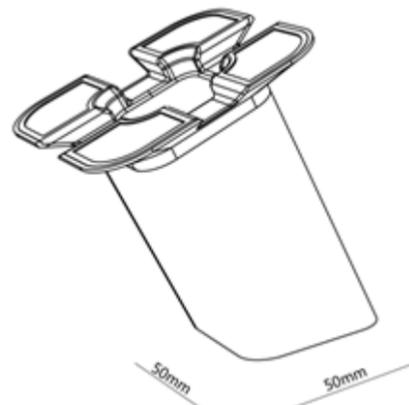


仕器に穴を開けなくても電源コードを逃がす部分があるのでシールを貼るだけでも設置可 (3タイプ共通)

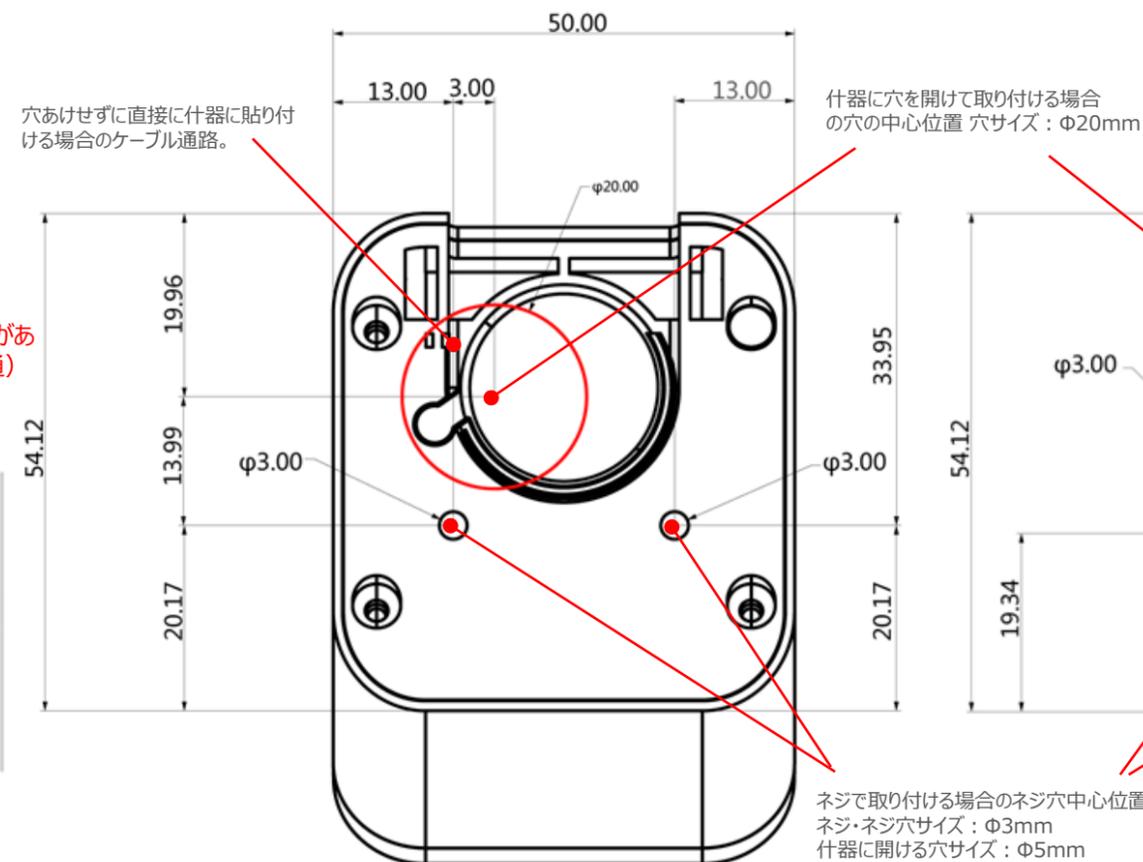
JMAX705-V3



JMAX715-V3(タブレット用)



JMAX702-V3底面



JMAX705,715-V3底面

